

患者さんやご家族、医療従事者、再生医療にご関心のある方へ

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）再生医療臨床研究促進基盤事業

～有効性と安全性をより良く伝え、みんなで考えてみませんか～

# 「患者・社会と考える再生医療」

「再生医療のサービスを受けたい、研究（治験など）に参加したいと関心を持った人たちが、よりよく選び、よりよく決めるための情報のあり方」について、研究者や参加者が率直に話し合い、よりよい仕組みを一緒に考える企画です。今回は特に再生医療の有効性と安全性をめぐる情報に焦点を当てます。話し合いの結果は再生医療の研究をめぐる情報提供・発信の仕組みや手続きなどを考えるための研究や実践に活用します。

令和元年  
12月15日(日)

安保ホール  
501AB会議室

<第1部> 10:00～12:00 「再生医療について講演」

講演：眞野恭輔（日本再生医療学会・事務局長）

江藤浩之（京都大学iPS細胞研究所・教授）

佐藤正人（東海大学医学部・教授）

八代嘉美（日本再生医療学会・理事）

司会進行：東島 仁（山口大学・准教授）

<第2部> 13:00～16:00

再生医療の安全性をめぐる「これからの研究情報のあり方」について、参加者、研究者とともに考える場を設けます。

<対象者>

第1部：「最先端の再生医療研究」の動向に関心のある方（50名程度）

第2部：上記に加え、「再生医療の有効性と安全性」について関心のある方（20名程度。第2部に参加する場合は、第1部の参加が必須です）

参加費：無料

イベントWebページ：<https://www.jsrm.jp/news/news-4254/>

<お申込みフォーム>

イベントWebページ、もしくは下記URLよりご登録ください。

<https://forms.gle/zaUgsM2HxJUqCARq6>



主催 一般社団法人日本再生医療学会



再生医療とは、病気や事故などによって失われてしまった体の細胞や組織、臓器を再生させ、機能を回復させることを目指した医療です。病気や怪我に新しい治療法をもたらすのではないかと大きな期待を受け、世界中でたくさんの研究が行われ、日夜さまざまな可能性が生まれています。

ただし再生医療は新しい医療です。社会で広く使われるまでには、さまざまな手続きを経る必要があります。実験動物をつかって有効性や安全性がたしかめられたとしても、人間でも同じように有効かどうか、安全かどうかはわかりません。人間を対象とした臨床試験を行い、国の審査によって「治療効果がある」と確認されてはじめて「治療」として承認され、健康保険が適用されます。患者さんやご家族をはじめとする様々な皆さま、そして社会全体に協力を仰いで研究を、そして医療を作り上げる必要があるのです。

では、あなたが、家族が、身近な人が研究に協力、特に参加するかどうかを考えると、なにを手がかりに考え、判断するでしょうか。治療を受けるかどうか、たとえば健康保険が適用されない自由診療を選択するかどうかを決めるときはどうでしょうか。わたしたちは日常生活で色々な情報を手掛かりに種々の判断をしています。最先端の再生医療について、なにをもとに考え、判断を下すでしょうか。判断材料は十分でしょうか。なにより、あなたが「知りたい」情報が得られているでしょうか。

日本再生医療学会では、よりよい再生医療を作り、そして選ぶための情報の現在を考え、将来を作ることを目指す企画を開催します。第1部では、再生医療の実用化や安全性を研究する最前線の研究者から、最先端の研究のお話をお届けします。第2部では、第1部の講演をもとに、再生医療の安全性をめぐる「これからの研究情報のあり方」について、参加者間そして最先端の研究者とともに考える場を設けます。この機会に、「これからの再生医療の研究をめぐる情報」について一緒に考えてみませんか。

会場 安部ホール 501AB会議室

〒450-0002  
愛知県名古屋市中村区名駅3-15-9

- ・JR名古屋駅 徒歩3分
- ・名鉄名古屋駅・近鉄名古屋駅 徒歩4分
- ・地下鉄各線名古屋駅 徒歩2分

問い合わせ先 一般社団法人日本再生医療学会  
患者・市民参画ユニット  
メールアドレス：[events@jsrm.jp](mailto:events@jsrm.jp)  
電話番号：03-6262-3028

